

第2回プラットフォーム会員ミーティング 「プラットフォームの今後を考える」

2021年12月15日

JICA ガバナンス・平和構築部 ガバナンスグループ
法・司法チーム 参事役
小林 洋輔

開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム

●目的：

開発途上国における社会的・経済的・環境的に持続可能なカカオ産業の実現に関心を有する本邦関係者間の協働を促進することを通じて、その実現を図る上での課題の解決を推進する。

●活動

- (1) 会員間の情報・経験の共有
- (2) 会員間の協働の促進
- (3) 国内外に対する発信 等





プラットフォーム設立以降の歩み

2020年1月	「開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム」設立
2020年2月	一般公開イベント「SDGsとチョコレート持続可能な未来のためにできることー」（134名参加） <ul style="list-style-type: none">・コレクティブ・インパクトの事例紹介（チェンジ・エージェント）・サステナブル・カカオに関連した企業・NGOの取り組みのご紹介・プラットフォーム立上げのご紹介
2020年6月	ILO-JICA オンライン勉強会「児童労働とビジネス」（140名超参加） <ul style="list-style-type: none">・2020年の「児童労働反対世界デー」を記念し開催。・ILOとIOE（国際使用者連盟）が作成した「ビジネスのための児童労働の手引き」の紹介。・プラットフォームの紹介
2020年9月	会員向けメルマガ配信開始
2020年10月	JICAがガーナ「カカオ・セクターを中心とした児童労働にかかる情報収集・確認調査」開始 <ul style="list-style-type: none">・ACE、アイ・シー・ネットによる調査・児童労働フリーゾーンのパイロット活動を2郡で実施 →活動情報はプラットフォームメーリングリストにて発信中
2020年11月	「とくしま国際消費者フォーラム2020」 <ul style="list-style-type: none">・JICA理事からプラットフォームの設置やその目的についてビデオメッセージで発信



プラットフォーム設立以降の歩み

2020年12月	サステナブルカカオに関する勉強会（ウェビナー）（118名参加） ・サステナブル・カカオに関する社会課題として「ガーナ政府が進める児童労働フリーゾーン」「児童労働撤廃に向けた国際通商ルール」「エクアドル：サステナブル・カカオ・バリューチェーン構築に向けた官民の取り組み」について会員からご発表
2021年3月	SHIBUYA QWS共催「サステナブル・カカオとは？-チョコレート選びの新たな視点-」（ウェビナー）（127名参加） ・株式会社コータロー江澤さん、株式会社立花商店生田さん、NPO法人ACE白木さんより、サステナブル・カカオ実現のための取り組みについてご紹介→パネルディスカッション
2021年3月	児童労働撤廃国際年アフリカ地域キックオフイベント（アフリカ連合、ILO、アライアンス8.7共催）にてJICAが「2021 Action Pledge」を発表（プラットフォーム活動、ガーナでの児童労働フリーゾーン支援、ラオスでのILO連携調査）
2021年4月	エクアドル生産・貿易・投資・漁業省共催イベント「エクアドル・サステナブル・カカオ国際フォーラム」（ウェビナー）（157名参加） ・カカオ発祥の地とされるエクアドルから、「プレミアム&サステナブル」をスローガンとしたブランド化、カカオの歴史、小規模農家への支援等についてプレゼンし、エクアドルカカオの魅力を発信
2021年5月	JICAがコートジボワール「ブロックチェーン技術を活用した児童労働の防止に係る基礎情報収集・確認調査」開始 ・デロイトトーマツコンサルティングによる調査 ・児童労働に係る申告データの正確性を担保する仕組み、及びステークホルダー間の高いトレーサビリティを実現させる社会システムを確立するため、基礎情報を収集・分析することが目的
2021年7月	サステナブル・カカオ・プラットフォーム会員ミーティング「プラットフォームの今後を考える」開催
2021年8月	分科会設置開始（第1号は「スリランカカカオ豆の日本への普及販売」）
2021年10月	会員投票によりロゴマーク決定
2021年11月	会員数が100を達成

▼マークは協働の場と広がり表現



本日の目的：会員間の共創の発展